



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名 シノブフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2903 URL http://www.shinobufoods.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 崇志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 長尾 正史 (TEL) 06(6477)0113
 管理本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日 配当支払開始予定日 平成28年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,807	0.4	551	△24.9	533	△28.0	384	△19.7
28年3月期第2四半期	22,714	7.8	734	0.9	742	△0.2	479	5.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 394百万円(△18.7%) 28年3月期第2四半期 484百万円(6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	30.22	29.90
28年3月期第2四半期	36.82	36.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,831	10,900	54.4
28年3月期	19,804	10,570	53.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 10,792百万円 28年3月期 10,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	7.50			
29年3月期(予想)			—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	1.3	1,170	△5.3	1,200	△4.1	750	△6.2	58.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	13,900,000株	28年3月期	13,900,000株
29年3月期2Q	1,160,435株	28年3月期	1,160,435株
29年3月期2Q	12,739,565株	28年3月期2Q	13,021,845株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策等を背景に緩やかな回復基調が続きましたが、新興国や資源国等による景気不振リスクや、英国のEU離脱問題による海外経済の混乱が広がるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、個人消費も足踏み状態が続き、中食業界で事業を展開する当社グループの経営環境は厳しい状況となりました。

こうした状況下、当社グループは中期経営計画（平成28年3月期～平成32年3月期）における4つの基本戦略、「継続的な売上成長」、「コスト競争力の強化」、「人材の育成」、「環境への取り組み」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、主要取引先であるコンビニエンスストアやスーパーマーケットにおいて主力の弁当が順調に売上を伸ばしました。食品添加物の削減やおかずの内製化にこだわった、鮮度感・手作り感のあるお弁当のブランド、「真菜ごころ」シリーズはラインナップ化を開始し、なかでも「こだわりオムライス弁当」はスーパーマーケットを中心に大変ご好評をいただいております。

生産面では、炊飯設備の入替えや最新の解凍機、加熱蒸気オープンなどの導入により、品質向上と生産能力の増強を行いました。また、高い性能を持つ機器を効果的に使用するため、メーカーと連携した研修会や工場巡回を通して生産効率の向上を図るとともに、従業員に対する教育を積極的に行うなど安全・安心な商品の提供に取り組みしました。

コスト面では、類似食材の統合、ロスの削減、設備投資による省人化など、コストの増加を抑える取り組みを積極的に行いましたが、精米や海苔等の原材料価格の値上がりや人手不足に起因する生産性の悪化がありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は228億7百万円(前年同期比0.4%増)となり、営業利益は5億5千1百万円(前年同期比24.9%減)、経常利益は5億3千3百万円(前年同期比28.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億8千4百万円(前年同期比19.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現金及び預金の減少と売掛金の増加を主因に前連結会計年度末と比較して2千7百万円増加し、198億3千1百万円となりました。また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益3億8千4百万円を計上する一方、配当金の支払9千5百万円等により前連結会計年度末と比較して3億3千万円増加し、109億円となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、8億6千3百万円の収入(前年同期比9千3百万円収入増)となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益5億3千7百万円、減価償却費4億9千5百万円、法人税等の支払額1億8千2百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億7千5百万円の支出(前年同期比3千5百万円支出増)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出7億1百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億1千4百万円の支出(前年同期比10億4千4百万円収入減)となりました。これは、主として借入金の返済による支出1億7千4百万円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、23億2千7百万円(前年同期比4億1千4百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月6日に発表しました決算短信の通期の連結業績予想から変更は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,452	2,327
売掛金	4,315	4,451
商品及び製品	29	28
原材料及び貯蔵品	219	223
その他	315	250
貸倒引当金	△5	△1
流動資産合計	7,326	7,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,870	2,763
機械装置及び運搬具(純額)	2,094	2,545
土地	6,124	6,124
その他(純額)	734	484
有形固定資産合計	11,825	11,918
無形固定資産	108	93
投資その他の資産		
その他	561	555
貸倒引当金	△17	△14
投資その他の資産合計	543	540
固定資産合計	12,477	12,552
資産合計	19,804	19,831
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,218	3,306
1年内返済予定の長期借入金	949	1,549
未払金	1,900	1,892
未払法人税等	227	209
賞与引当金	261	226
その他	733	586
流動負債合計	7,291	7,771
固定負債		
長期借入金	1,614	839
退職給付に係る負債	245	237
その他	82	83
固定負債合計	1,942	1,159
負債合計	9,233	8,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	3,247	3,247
利益剰余金	3,166	3,455
自己株式	△613	△613
株主資本合計	10,493	10,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	30
退職給付に係る調整累計額	△22	△20
その他の包括利益累計額合計	3	9
新株予約権	48	80
非支配株主持分	25	28
純資産合計	10,570	10,900
負債純資産合計	19,804	19,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	22,714	22,807
売上原価	17,930	18,239
売上総利益	4,783	4,568
販売費及び一般管理費	4,049	4,017
営業利益	734	551
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	20
その他	16	14
営業外収益合計	17	34
営業外費用		
支払利息	5	6
支払手数料	-	43
その他	3	2
営業外費用合計	9	52
経常利益	742	533
特別利益		
固定資産売却益	-	8
特別利益合計	-	8
特別損失		
固定資産除却損	24	5
特別損失合計	24	5
税金等調整前四半期純利益	717	537
法人税、住民税及び事業税	224	135
法人税等調整額	11	14
法人税等合計	235	149
四半期純利益	481	387
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	479	384

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	481	387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	4
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	2	6
四半期包括利益	484	394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	482	391
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	717	537
減価償却費	462	495
株式報酬費用	16	32
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17	△35
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	△5
受取利息及び受取配当金	△1	△20
支払利息	5	6
支払手数料	-	43
固定資産売却損益(△は益)	-	△8
固定資産除却損	24	5
売上債権の増減額(△は増加)	△74	△136
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15	△3
仕入債務の増減額(△は減少)	218	88
未払消費税等の増減額(△は減少)	△208	△40
その他の資産の増減額(△は増加)	34	27
その他の負債の増減額(△は減少)	△12	43
その他	2	-
小計	1,147	1,023
利息及び配当金の受取額	1	20
利息の支払額	△6	△6
法人税等の支払額	△378	△182
法人税等の還付額	6	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	770	863
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△616	△701
有形固定資産の売却による収入	-	1
無形固定資産の取得による支出	△31	△0
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資不動産の売却による収入	-	26
その他の支出	△2	△3
その他の収入	11	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△639	△675
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200	-
長期借入金の返済による支出	△346	△174
自己株式の取得による支出	△31	-
配当金の支払額	△91	△95
支払手数料の支払額	-	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	730	△314
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	861	△125
現金及び現金同等物の期首残高	1,880	2,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,741	2,327

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。